

きらり

すてきな いきかた かんがえよう



「パパと子どものパン作り教室～イクメンパパのススメ～」の講座の様子



マザーズ・りぶら・job cafe情報交換会の様子



「産後について学び、夫婦で語る～あたらしい両親学級～」の講座の様子



男女共同参画推進のための一般職研修の様子

「男女共同参画」について

「男性は仕事、女性は家庭」といった言葉を耳にしたことはありませんか?このように性別によって区別するのではなく、すべてのひとが、性別に捉われず個人として尊重されるという人権意識を職場、家庭、地域などあらゆる場面で定着させることが大切です。

も く じ

- 知っておきたい! LGBTの基礎知識 P2~4
- 平成29年度 岡崎市男女共同参画課 LGBT関連事業紹介 P5~6
- 平成29年度 岡崎市男女共同参画課 その他新規事業一部紹介 P7
- すてきな いきかた かんがえよう With You! フェスタ事業報告 P8



知っておきたい! LGBTの 基礎知識

社会の中では、性に関する偏見や固定観念などにより、職場・家庭生活などあらゆる場面で人権を侵害されている状況の人がいます。一人ひとりが、多様な生き方を選択できるよう、差別や偏見解消のため、正しい理解が必要です。

多様な人間の性のあり方

一般的に性は「男」と「女」に分けます。しかし、「身体の性」と「心の性」は必ず、一致するとは限りませんし、好きになる性も異性になるとは限りません。「心の性」と「好きになる性」は明確に分けることができず、人間の性のあり方は様々です。



すべての人の性のあり方は、**グラデーション**のように、明確に分けることができないのです。

同性が好きな人や自分の性別に違和感を覚える人、または性同一性障がいなどの人々がいます。最近ではアルファベットの頭文字をとって、以下のように「LGBT」とも呼ばれます。

Lesbian

レズビアン

同性を好きになる女性

Gay

ゲイ

同性を好きになる男性

Bisexual

バイセクシュアル

性別に関わらず、同性を好きになることも、異性を好きになることもある人

Transgender

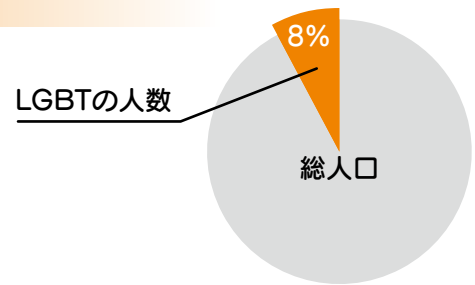
トランスジェンダー

出生時の性別とは、異なる性別のあり方を望む人

LGBTといっても、すべての性的少数者が4つに分類されるわけではありません。性のあり方に迷いを感じる人、恋愛感情をもたない無性愛の人、すべてのセクシュアリティの人が恋愛対象となる全性愛の人など様々で、人の性をグラデーションに例えることができます。

LGBTは日本全体でどれくらいいるの？

全体の人口のおおよそ8%（2016年連合調査）。これは、左利きの人や、AB型の人とほぼ同じ割合です。「いない」のではなく、LGBTであることを打ち明けられない方が多くいます。もしかしたら、あなたの身の周りにも、悩んでいる方がいるかもしれません。

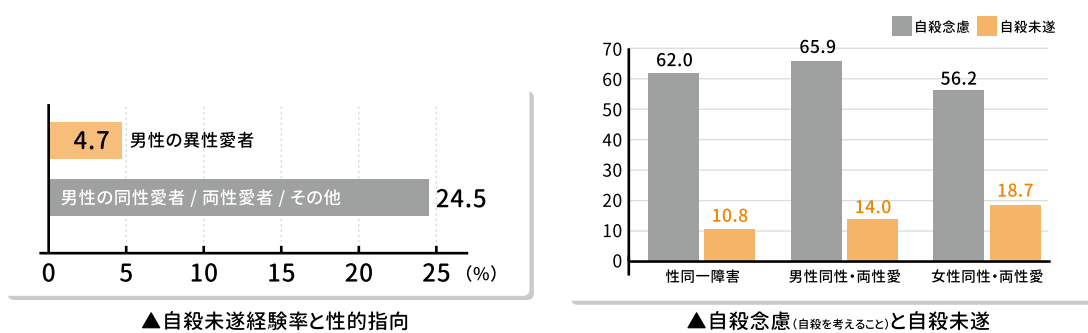


世界の中でのLGBTの認識は？

近年、多くの国々がLGBTの人々の人権保護を強化するための取組を展開しています。差別を禁止したり、同性愛を正式に承認したりと、LGBTを保護する様々な法律が採択されています。しかしその一方で、同性愛というだけで、迫害を受けたり、死刑や禁固刑となる国も依然として存在しているのが現状です。

日常何気ない言葉や会話によって傷ついている人がいます！

「ホモ」「レス」「ゲイ」「オカマ」などの言葉は、差別的に使われてきたこともあり、言葉を聞くことに嫌だと感じたり、傷つく人もいます。同性愛者、両性愛者などの自殺未遂経験者は、異性愛者と比べて、男性で、約5倍と高くなっています。また、LGBTの中で、自殺を考えたこと（自殺念慮）がある人の割合がおよそ6割、自殺未遂が約1～2割です。



岡崎市 性は虹色のグラデーションLGBTを知るためのハンドブックより

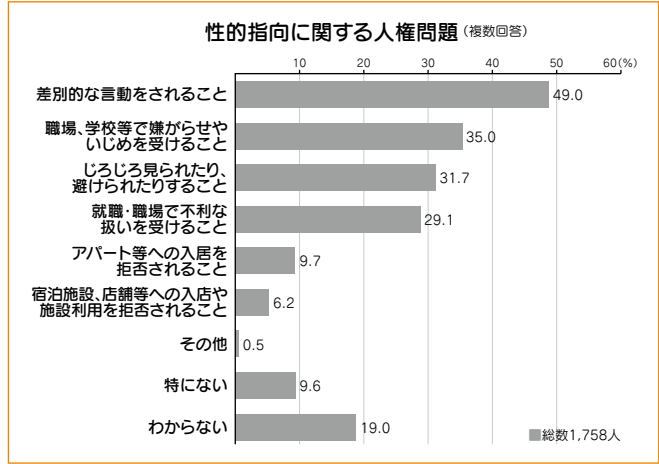
カミングアウトはしたい相手に、したいタイミングで

カミングアウトとは、これまで秘密にしていた自分のセクシュアリティを誰かに打ち明けることです。カミングアウトは、決して「しなければならないもの」ではありません。本人が、カミングアウトしたい相手に、したいタイミングで話せばよいことです。もしもカミングアウトが受け入れられれば、その人に恋愛や性別のことを隠さず付き合うことができます。しかし、もしも受け入れられなかった場合、その人との関係性が断たれてしまうこともあります。そうした可能性も考えて、慎重に検討することが必要でしょう。

続いて、様々な生活の場面ごとでみていきましょう!

職場では…

LGBTの方は職場の中では少数派であるがために、場合によっては偏見の目で見られたり、職場で不適切な取り扱いを受けることさえあります。内閣府が行った人権擁護に関する世論調査においては、「性的指向に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか」という質問について、「差別的な言動をされること」がおよそ5割と高い一方で、「特にない」または「わからない」と回答をした人が全体のおよそ3割にのぼっています。



内閣府 人権擁護に関する世論調査 (H29年度)より

教育現場では…

学校生活において、LGBTの児童・生徒の多くが、学校で身体的・精神的・性的な暴力や、無視、仲間外れなどの経験をしています。LGBTについて、そうでない児童・生徒が正しく理解することが、学校におけるLGBTの児童・生徒の存在への理解・支援につながります。



家庭生活では…

「男だからこうなさい!」「女だからこうなさい!」生活の中の何気ない会話でも、LGBTの人にとっては心を傷つけてしまうことがあります。LGBTの子をもつ方は、生活の中で日ごろからコミュニケーションを取り、少しずつ理解を深めていくことが大切です。



平成29年度 岡崎市男女共同参画課 LGBT関連事業紹介

市職員への意識啓発

平成29年8月18日(金)に、大阪市淀川区LGBT担当職員、LGBT当事者の結城愛氏を講師として招き、「行政機関が行うLGBT支援とは何か?～知らないではすまされない～」を実施しました。当日は副課長など管理職員が参加し、グループワークではLGBTについての意見交換を行いました。



実施後のアンケートより **研修の感想**

- 書類等における性別欄の必要性を検討したい。
- 「いない」ではなく、「言えない」ために見えていないだけで、LGBTの方は身近にいることがわかった。
- LGBTは人権問題であり、公権力の行使に当たる者として「知らない」では許されないことである。
- 今回の研修内容について職員全員に周知し、LGBTへの差別、偏見が人権問題という意識を職員が認識することが必要である。

一般市民への理解推進

平成29年10月8日(日)に、トランスジェンダー当事者の結城愛氏を講師として招き、男女共同参画講座「性は虹色のグラデーション LGBTについて知ろう!」を実施しました。当日は17名の方が受講し、LGBTに関する知識的な部分の話や、結城氏の実体験を聞くなど、LGBTの理解を深める場となりました。



実施後のアンケートより **講座の感想**

- 一人の人間なので、偏見する必要もないと思う。
- LGBT、男女が協力していける社会にするためにはどうしたらよいか考えていきたいです。
- 人間の多様性を理解するうえで、今回の講座は勉強になりました。
- 相手を知り、認め合えるといいと思います。
- 個性のひとつとして認められますが、身近な人の場合は悩むかもしれない。

啓発パネル展示・関連図書の紹介ブース設置

図書館交流プラザらびらにおいて、乳幼児室前と男女共同参画課特設展示スペースでLGBT理解啓発のためのパネル展示や、図書館内で関連図書の紹介を行いました。パネル展示、関連図書紹介の期間中、多くの来館者の方に見ていただきました。



●図書館交流プラザらびら乳幼児室前と特設展示スペース(総合案内西側)で常時、男女共同参画の展示を行っています。

LGBTを知るためのハンドブックの発行

「性は虹色のグラデーション LGBTを知るためのハンドブック」を発行しました。LGBTについての講座などで配布をしているほか、男女共同参画課窓口(福祉会館5階)や市政情報コーナー(西庁舎1階)、市内各施設等に配架しております。男女共同参画課ホームページでも閲覧できます。



LGBT相談機関の紹介

- よりそいホットライン 24時間通話無料
TEL.0120-279-338(専門ライン4番) ※ガイダンス後、4番を選ぶとLGBTに関する専門回線につながります。
- AGP(同性愛者医療、福祉、教育、カウンセリング専門家会議)電話相談
TEL.050-5539-0246
「こころの相談」毎週火曜/20時~22時、「からだの相談」第1水曜/21時~23時
- レインボー・ホットライン
TEL.0120-51-9181 毎週月曜/19時~22時
- QWRC電話相談
TEL.06-6585-0751 第1月曜日/19時半~22時半
- 東京弁護士会セクシュアル・マイノリティ電話法律相談
TEL.03-3581-5515 第2・第4木曜(祝祭日の場合は翌金曜)/17時~19時
- 大阪弁護士会LGBTsのための電話相談
TEL.06-6364-6251 第4月曜日/16時~18時

平成29年度 岡崎市男女共同参画課 その他新規事業一部紹介

ユースリーダー養成講座

若い世代への
男女共同参画推進

平成29年8月31日、9月4日・5日に、男女共同参画社会への理解を若い世代へ広めるため、大学生や専門学校生などを対象としたユースリーダー養成講座を開催しました。受講者は、男女共同参画の基礎知識をはじめ、市民活動、男女共同参画の視点に立った防災、デートDVなどに対する知識を深めるとともに、デートDVに関しては、独自の予防プログラムを作成し、発表しました。この講座によって、今年度多くのユースリーダーが誕生し、市主催の行事に参加するなどし、活躍の場を広げています。



マザーズ・りぶら・job café

働きたい女性のための
就労支援

平成29年7月4日、10月19日、平成30年1月23日に、働く意欲のある女性の不安の解消と就労促進を目的とするマザーズ・りぶら・job caféを実施しました。あいちマザーズハローワークと共催し、情報交換を兼ね備えた気軽に集える座談会と、あいちマザーズハローワークの職員による個別相談を行いました。

コンサルタント派遣事業

事業所へのワーク・ライフ・
バランスと女性活躍推進

岡崎市では、職場での女性の活躍、仕事と家庭の両立、働きながら育児・介護できる環境づくり等に取り組む意欲があり、抜本的な働き方改革が必要となる市内事業所に対して、長期的に女性の活躍やワーク・ライフ・バランス推進を支援するコンサルタントの派遣を、平成29年度より開始しました。

株式会社A.I(岡崎市羽根町)※サービス業



専門コンサルタントによる助言



専門コンサルタントによる社内研修

○専門コンサルタントによる支援した内容の一部

- ・女性社員の活躍をアピール(あいち女性輝きカンパニーの認証取得や自社ホームページのリニューアルに関する助言等)
- ・仕事と育児、介護が両立できるよう職場改善(就業規則のアドバイスやファミリーフレンドリー企業の登録等)
- ・男性スタッフの育児休業取得支援
- ・従業員の意識改革のための社内研修実施

※注意 取組に係る費用は各事業所の負担です。

その他にも、男女共同参画・女性活躍推進に関する事業を実施しています!

今年度は「仕事と介護の両立」をテーマにフェスタを開催しました!

すてきな いきかた かんがえよう With You! フェスタ

現在、介護離職は年間10万人と言われ、労働力不足が深刻化しており、2025年には団塊の世代が後期高齢者を迎え、全人口の3割以上が65歳以上高齢者となり、更なる介護離職者の増加による社会問題が懸念されています。

「すてきな いきかた かんがえよう With You! フェスタ」では、「仕事と介護の両立」をテーマに平成29年10月14日・15日に図書館交流プラザりぶらで開催しました。介護ロボット・福祉車両の展示／体験、女性映画監督安藤桃子氏によるトークショー、映画上映、認知症予防運動「コグニサイズ」、一般・事業所向け各種セミナーなど様々なイベントを実施しました。また、「仕事と介護の両立」に関するパネル展示し、誰もがいつかは直面する介護の問題について、多くの方に考えていただきました。

「仕事と介護の両立」をするためには、公的制度や勤務先の支援制度を上手く利用していくことがポイントとなります。現在、介護を行っていない方は、各種制度の把握や介護の相談窓口を知っておくなど事前準備をしておくといよいでしょう。そして「仕事と介護を両立」するうえで最も重要なことは「一人で抱え込まない」ことです。時には、息抜きのために介護サービスを利用したり、家族に任せ、介護から解放される時間を持つということも、介護者の孤立化を防ぐためには必要とされています。介護はいつ始まるかだけでなく、いつ終わるのかも分かりません。深刻に捉えすぎず広い視野を持つことが、「仕事と介護の両立」には必要です。

現在、介護者の負担軽減などのため介護分野において介護ロボットは新たに注目を浴びています。「すてきな いきかた かんがえよう With You! フェスタ」では、普段見慣れないたくさん介護ロボットを、来場者の皆さんに広く体験していただきました。



男女共同参画情報誌



すてきな いきかた かんがえよう

平成30年2月 発行通巻23号

編集・発行／岡崎市社会文化部 男女共同参画課

〒444-8601 岡崎市十王町2丁目9番地

TEL 0564-23-6222 / FAX 0564-23-6626

E-Mail danjo@city.okazaki.lg.jp